

けんみん文化祭ひろしま'06

開催近づく!「総合フェスティバル」

9月30日(土)開場14:00 開演15:00
 場所 テアトロシェルネ (しまなみ交流館)
 分野別フェスティバルもご期待ください

ひろしまから発信する21世紀の文化

けんみん文化祭

だより

VOL.14
 2006.9

●編集・発行●
 けんみん文化祭ひろしま実行委員会事務局
 〒730-8511 広島市中区基町10番52号
 TEL (082) 222-3774 FAX (082) 222-7133
 (月～金 8:30～17:15 ※土日祝祭日除く)
<http://www.hiroshima-kenbunsai.jp>

今年も充実しています

今年の「けんみん文化祭ひろしま'06」も、まもなく幕を開けます。今年9月30日(土)の開会式・総合フェスティバルから12月10日(日)の文芸祭合同大会まで、県内10会場で開催します。

そこで、今回はたくさん開催される催しの中でも、特に見ごたえのあるイベントをご紹介します。

まずは、分野別フェスティバルのスタートを切って、10月8日(日)に広島市で「演劇・ミュージカルの祭典」を開催します。かねてより全県公募で県内各地から出演団体を募ったところ、今年も個性溢れる顔ぶれが揃いました。青少年の健全育成を図ることを目的に設立され、大人と子どもが一緒に活動する活動が続ける団体や、台本から小道具まで全て手作りという温かみのある団体など、その内容は幅広く、見ごたえのある演技が期待できるでしょう。迫力のある舞台を是非会場でご覧ください。またアトラクションでは、広島奇術クラブによる奇想天外なマジックを披露し、その華やかなステージで皆様をしばし不思議の世界へお誘いします。

次に、11月19日(日)には、福山市で「吟詠詩舞道祭」を開催します。県内各地から選ばれた団体の発表のほか、前年度のけんみん文化祭ひろしま短歌優秀作品の朗詠や、模範演技では、毎年開催地の文化や特色



昨年度「ミュージックフェスティバル」

を盛り込んだ内容で好評を博している企画構成を披露します。例年にも増して充実した内容となっておりますので、ご期待ください。

舞台系事業の最後を締めくくるのは、12月3日(日)に廿日市市で開催する「ミュージックフェスティバル」です。こちらは、合唱と洋楽が一度に鑑賞できる盛りだくさんの内容となっております。アトラクションでは、地元の小学生によるパフォーマンスやミュージックなどを披露します。可愛らしい伸びやかな歌声をお楽しみください。

いかがでしたか?今回ご紹介した分野だけでなく、どの会場も出演者、来場者共にご満足いただけるようなイベントとなるよう努めております。今年の秋は、「けんみん文化祭ひろしま」を満喫してみてください。いかがでしょうか?

この秋注目のイベントを紹介～尾道編～

毎年秋には、どの地域でも様々なイベントが催されますが、今年のけんみん文化祭ひろしまの開会式・総合フェスティバルの開催地尾道市でも、毎年恒例のイベントが数多く開催されます。その中で、今回は開会式・総合フェスティバルと同日に開催される催しをご紹介します。一度にたくさんの催しを満喫できる絶好の機会です。是非、お楽しみください。

■尾道灯りまつり<ローソクアート> 点灯式

日時:9月30日(土)18:00～
 場所:尾道駅前緑地帯、15カ寺ほか
 内容:尾道水道に面する雁木から尾道三山の中腹にたたずむ寺々へ続く参道や境内に灯りをともし、かつて北前船が目印とした常夜灯の雰囲気を感じさせます。3万個の幻想的なローソクアートが尾道の街を彩ります。
 お問い合わせ先:尾道灯りまつり実行委員会 ☎0848-25-7184

■第19回グルメ・海の印象派-おのみち-

日時:9月30日(土)～11月5日(日)
 場所:市内一円
 内容:期間限定で、各飲食店の趣向を凝らした「おのみちどんぶり」が堪能できるほか、食に関するイベントを開催し、尾道のグルメを満喫できます。



《イベントの一例をご紹介します》

■ナイトフェスタinおのみち2006

日時:9月30日(土)18:00～、10月14日(土)18:00～
 場所:尾道中央棧橋(尾道商工会議所南側)
 内容:澄み切った夜空と満天の星のもと、尾道の手を臨むシーサイドで開催。今年は「くじら」を使った料理を中心に、潮風を感じながらジャズライブを楽しんでいただけます。
 ※前売り券(4500円)をお買い求めください。
 当日販売はありません。
 お問い合わせ先:第19回グルメ・海の印象派-おのみち-実行委員会 ☎0848-25-3863

けんみんミュージカル「尾道ラーメン物語」

総合フェスティバルのステージで披露!

4月にオーディションを行い、5月から練習を開始したけんみんミュージカル「尾道ラーメン物語」。9月30日(土)の総合フェスティバルの舞台に向けて、出演者はぐんぐんと演技に磨きをかけています。

5月に練習を開始したときは、みんな緊張した様子でしたが、1ヶ月も経つと自然と笑顔になり、打ち解けて練習に励んでいました。ときには、打ち解けて、先生からお叱りを受けることも…

わきあいあいと進んできた練習も、基礎練習を終える頃には、みんなしっかりと成長の跡が見られました。練習に立ち会ってきた私は、このミュージカルが「とても素晴らしい舞台となる」と実感し、嬉しく思いました。半面、「若いて羨ましい…」とも思っちゃいましたが(本音)。

7月には台本も出来上がり、配役も決まりました。歌とダンスの練習にあわせて、演技の練習も本格的に開始。つい先日台本の読みあわせをしていたかと思ったら、あっという間に立ち稽古に突入。先生の「1回、最初から最後まで通してみましょう。」の一言で、荒削りながら全てのシーンをやりきってしまうパワー。そして、ダンスや演技の指導を受けているときのみんなの顔は、最初と変わらない真剣な眼差し。横で見ている私は、みんなの成長に驚き、その実力に脱帽してしまいました。

さあ、いよいよ本番です。出演者一人ひとりが輝き、皆さんの心に残る舞台になるよう精一杯演じます。皆さん、楽しみにしていてください。

※総合フェスティバルの入場には鑑賞券が必要です。申込み方法は、けんみん文化祭ひろしま実行委員会事務局へお問い合わせ、またはホームページをご覧ください。

お問い合わせ先 ☎ 082-222-3774

ホームページアドレス <http://www.hiroshima-kenbunsai.jp>



ただいまダンスを猛特訓中!



みんなで台本の読み合わせ

ブンカッキー、小学校でもやはり人気者でした!

廿日市市にある浅原小学校では、授業で俳句の創作に取り組み、今年の文芸祭には学校単位で作品を応募して下さるという情報を耳にし、先日ブンカッキーとともに小学校を訪れました。全校生徒34名のこちらの小学校は、周りを緑に囲まれ、目の前には清流が流れる自然豊かな環境に位置していました。

実はブンカッキー、小学校におじゃまるのは今回が初めてのことで。緊張いっぱいの面持ちで1、2年生の待つ教室に入るとすると、なんと入口より体が大きく、なかなか

入らない!でも子どもたちはその大きな体に驚くこともなく、突然の来訪者に大喜び!「中はどうなっているの?」「男の子?女の子?」等と質問攻めにされ、教室は大きな歓声と笑顔に包まれました。

そして休憩時には、全校生徒でブンカッキーを囲んでの写真撮影。どの子どもたちも表情がいきいきとしていて、ブンカッキーもとても楽しく充実した時間を過ごすことができました。(子どもたちの俳句の創作現場については、裏面で紹介します。)



浅原小学校のみんなと

